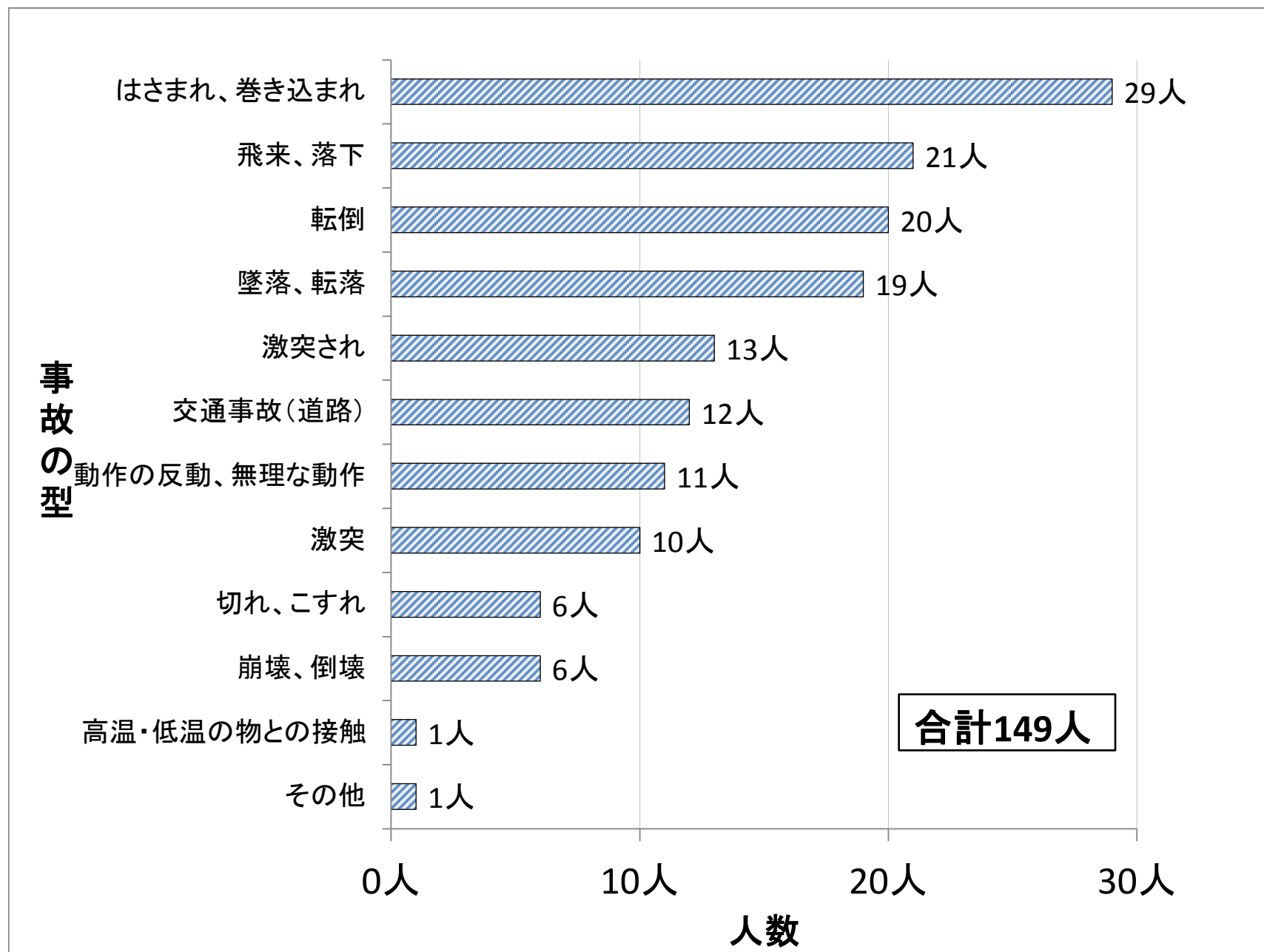


土木工事業の労働災害の発生状況(平成28年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成29年3月末現在



- ①はさまれ・巻き込まれ災害では、ブルドーザーの運転席から転落し轢かれたもの(死亡)、作動中のドラグショベルのバケットやキャタピラに接触し足がはさまれたもの、トラックのあおりと持っていた岩の間にはさまれたもの、矢板と矢板の間に足をはさんだもの、吊り荷が振れ又は倒れて荷受者がはさまれたもの、機械の回転部分に身体の一部をはさんだもの等が発生しています。
- ②飛来、落下災害では、バケットで持ち上げた材が落下してきて手足を被災したもの、支保工建て込み作業中に天端が一部抜け落ち当たったもの、トラックの荷台から落下したパイプ等で足をつぶしたもの等が発生しています。
- ③転倒災害では敷鉄板につまづく又は滑って転倒したもの、荷物を持ち移動中に床で滑って転倒したもの、片付け中に資材につまづき転倒したもの、重機やバイクの運転中に法面で横転したもの、重量のある部材を外そうとしてバランスを崩した後方に転倒したもの、スズメバチから逃げようとして転倒したもの等が発生しています。
- ④墜落、転落災害では、吊り足場の仮設中に墜落したもの、はしご・脚立、階段から墜落したもの、法面から滑落したもの、トラックの荷台上から転落したもの等が発生しています。
- ⑤激突され災害では、無人のグレーダーに激突されたもの(死亡)、移動式クレーンの荷が振れて激突されたもの(死亡)等が発生しています。
- ⑥交通事故(道路)では対向車線からはみ出してきた車に正面衝突されたものが発生しています。冬季は、路面凍結によるスリップで2名が被災したもの等が発生しています。また、道路の測量のため鋌打ちをしているところ走行してきたトラックに轢かれた事故(死亡)も発生しています。
- ⑦動作の反動、無理な動作による災害では、クローラーと荷台の隙間に足が掛け捻ったもの、車両を後方から押したときにふくらはぎを痛めたもの、合板を運んでいたとき突風にあおられ足を骨折したもの、重量物を運び腰を痛めたもの等が発生しています。
- ⑧激突災害では、足場と地山の間をすり抜けようとしてクランプ部に足をぶつけて骨折したもの、重機やトラックから降りる際など、段差や高いところから飛び降りたときに足を捻挫したもの等が発生しています。
- ⑨崩壊、倒壊災害では、土砂崩壊によるものが2件発生しております。このほか、結束されていた残存型枠ブロックのビニールロープを切断していたところ、同ブロックが倒れてきたもの、伐採作業中に倒れた木により負傷したもの等が発生しています。
- ⑩切れ、こすれ災害では、携帯用丸のこ盤で手・足を切ったもの、ボーリング作業でパイプから土砂を出す際に指を切ったもの、伐木中にチェーンソーで指を切ったものが発生しています。
- ⑪高温低温の物との接触災害では、アスファルト乳剤入りの缶をガスバーナーで温めようとしたところ乳剤が燃焼し火傷したものが発生しています。

【土木工事業】

2. 災害の起因物別

平成29年3月末現在

(前年同月比較)

起因物	H27(1月～12月)		H28(1月～12月)		対H27同月増減	
	件数	H27の割合	件数	H28の割合	件数	割合
木材加工用機械	4	3.7%	3	2.0%	-1	-25.0%
建設機械等	13	11.9%	26	17.4%	13	100.0%
金属加工用機械	1	0.9%	2	1.3%	1	100.0%
一般動力機械	2	1.8%	2	1.3%	0	0.0%
車両系木材伐出機械等	0	0.0%	1	0.7%	1	#DIV/0!
動力クレーン等	10	9.2%	11	7.4%	1	10.0%
動力運搬機	13	11.9%	23	15.4%	10	76.9%
乗物	8	7.3%	5	3.4%	-3	-37.5%
電気設備	0	0.0%	1	0.7%	1	#DIV/0!
人力機械工具等	4	3.7%	0	0.0%	-4	-100.0%
用具	7	6.4%	9	6.0%	2	28.6%
その他の装置、設備	1	0.9%	0	0.0%	-1	-100.0%
仮設物、建築物、構築物等	15	13.8%	25	16.8%	10	66.7%
危険物、有害物等	0	0.0%	1	0.7%	1	#DIV/0!
材料	13	11.9%	19	12.8%	6	46.2%
荷	3	2.8%	8	5.4%	5	166.7%
環境等	11	10.1%	11	7.4%	0	0.0%
起因物なし	4	3.7%	2	1.3%	-2	-50.0%
(合計)	109	100.0%	149	100.0%	40	36.7%

(1) 労働災害の起因物をみると、平成28年は前年同月と比較して「建設機械等」が13件、100.0%、「動力運搬機」が10件、76.9%、「仮設物、建築物、構築物」が10件、66.7%、「材料」が6件、46.2%、「荷」が5件、166.7%などと増加しています。

- ・「建設機械等」は、掘削用機械、整地・運搬・積込み用機械、基礎工事用機械で、激突され、はさまれ・巻き込まれ、飛来落下等の災害の原因となったものです。
- ・「動力運搬機」は、トラック、不整地運搬車で、交通事故、激突され、墜落・転落等の災害の原因となったものです。
- ・「仮設物、建築物、構築物等」は、通路、足場のほか護岸、橋台等構築物等で、墜落・転落、転倒等の災害の原因となったものです。
- ・「材料」は、鉄板、パイプ、足場材、石材等で、飛来・落下、激突され、はさまれ・巻き込まれ等の災害の原因となったものです。
- ・「荷」は、ブロック、ヒューム管、機械装置で、クレーンを使用して吊り、設置する際、はさまれ・巻き込まれの災害の原因となったものです。また、荷姿の状態の物をほどいた際に崩壊・倒壊の災害の原因となったものもあります。

(2) また、平成28年は、「環境等」が11件、7.4%、「動力クレーン等」が11件、7.4%と件数、割合とも高くなっています。

- ・「環境等」は、地山、岩石、立木等で、飛来・落下、崩壊・倒壊等の災害の原因となったものです。
- ・「動力クレーン等」は、クレーン仕様のドラグショベルを含む移動式クレーンで、激突され、はさまれ・巻き込まれ、飛来・落下等の災害の原因となったものです。

3. 土木工事業の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
はさまれ、巻き込まれ	金属材料	資材置場で、クレーン仕様のドラグショベルを使用し、敷鉄板の片付け中、荷下ろした敷鉄板から介錯ロープを外そうと敷鉄板の下側に手を回したところ、ドラグショベルが動き、それと同時に敷鉄板が下降し、敷鉄板と地面の間に手をはさまれ、骨折した。
はさまれ、巻き込まれ	解体用機械	解体工事中、重機のバケットからアタッチメントの交換中、アタッチメントに手を挟み、骨折した。
はさまれ、巻き込まれ	その他の建設機械等	基礎に型枠用金具を取り付けるため、ドリルで削孔作業中、ドリル刃の回転が停止したと同時にドリル本体が回転し、それに手が巻き込まれ、手首を骨折した。
転倒	掘削用機械	河川の水替工にて、ドラグショベルで大型土のうを設置中、大型土のうをつり上げ、旋回したところ、ドラグショベルが横転し、運転席から飛び出した運転手がキャビンに足をはさまれ、骨折した。
転倒	通路	作業通路に置いてあったフレコンバックのつり輪に足が引っかかり転倒し、足を骨折した。
飛来、落下	石、砂、砂利	上水道の設置工事で、ドラグショベルのバケットにアスファルト殻を入れ、移動させていたとき、アスファルト殻がバケットから落ちないように押さえていた労働者にアスファルト殻が落下し、足を骨折した。
飛来、落下	立木等	支障木の枝を幹から切断した後、太い枝を持ち上げたときに手を滑らせ、落下した木が足に当たり、足指を骨折した。
墜落、転落	はしご等	脚立を使用し、倉庫の壁面にトタン板を張る作業をしていたところ、バランスを崩し、脚立とともに倒れ、高さ約90cmのところから転落し、腕や胸部を負傷した。
墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物	民家の外構工事の作業中、隣接する深さ3mの用水路に転落し、腕を骨折した。
激突され	整地運搬積込み用機械	道路の山側に停車した無人のモーターグレーダーが動き出し、谷側で作業をしていた労働者と激突した。
激突され	掘削用機械	ドラグショベルで鉄板を吊り、トラックの荷台に降ろすとき、荷台上の作業員がいるところに鉄板を降ろしてしまい、当該作業員の足に鉄板が当たり、足を骨折した。
交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	車で移動中、交差点で停車していたところ、後ろから別の車に追突され、頸部を負傷した。
動作の反動、無理な動作	石、砂、砂利	スコップを使用してダンプカーの荷台から碎石を降ろしているとき腰を痛めた。
激突	掘削用機械	基礎の埋め戻し作業中、不要な石を手作業で取り除いていたところ、石を放り投げた手がそばに停車していたドラグショベルのバケットに当たり、手指を骨折した。
崩壊、倒壊	地山、岩石	道路の復旧工事現場でブロック積み基礎部分の掘削作業中、法面の砂質土層の上部が幅約4m、高さ約1.5mに渡り崩壊し、付近で水切りをしていた作業員が巻き込まれ、骨盤部を骨折した。
切れ、こすれ	その他の金属加工用機械	排水フリームをエンジンカッターで切断していたところ、バランスを崩し、足の甲をエンジンカッターで切り、負傷した。